

令和元年(2019年)11月8日

保護者のみなさま

豊能町立東ときわ台小学校
校長 久保康子

令和元年度(2019年度)全国学力・学習状況調査の結果および今後の取り組みについて

晩秋の候、保護者のみなさまには、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校教育活動にご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

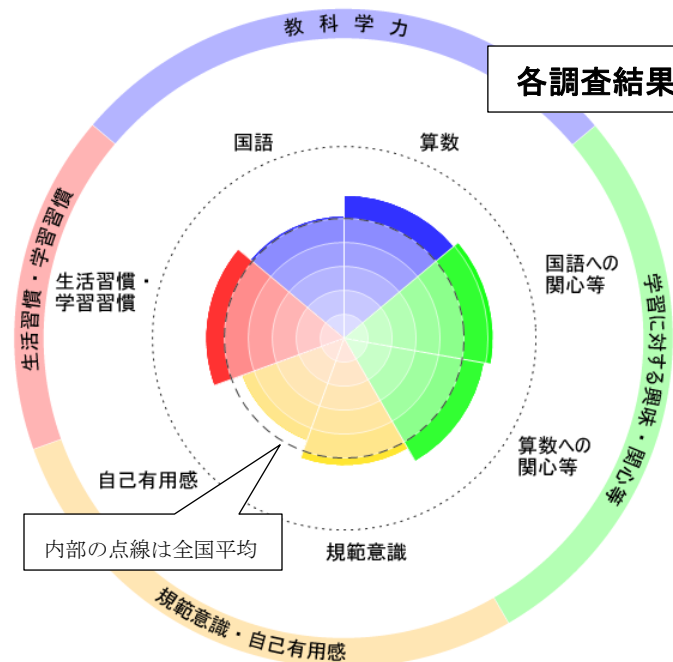
さて、4月18日に6年生を対象に実施しました全国学力・学習状況調査の結果についてご報告します。

調査結果については、平成29年度より各教育委員会、学校および文部科学省においてより一層多面的な分析や研究が行われるように、次のような調査結果を活用した取り組みを進めることができるようになりました。

- ・集計結果データについて、大学等の研究機関、国の行政機関に貸与し学術研究の振興等のために活用すること
- ・小学校調査の結果等について学校間での情報共有を図り、成果と課題を断続的に把握・検証し、教育の改善・充実に取り組むこと。

また、家庭状況と児童生徒の学力等の関係について分析するために、保護者に対する調査も無作為抽出で実施されるようになりました。(本校は今年度調査対象となっていません。)

なお、豊能町教育委員会による町全体の分析結果は町のHPにて、また調査問題・調査用紙や、その分析結果は国立教育政策研究所のHPで公表されています。それぞれご覧ください。



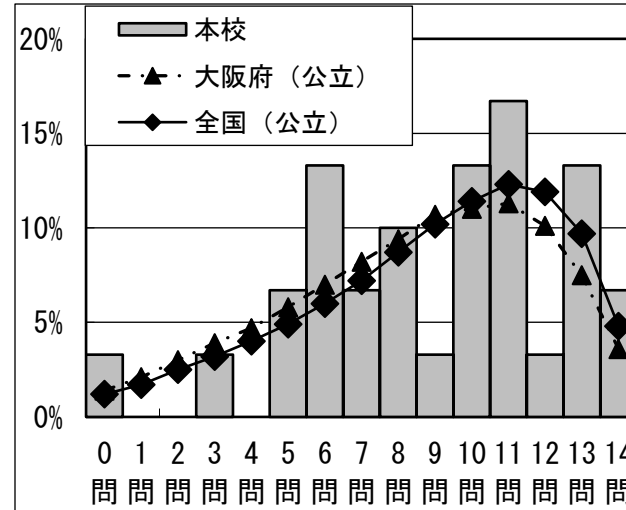
本年度は、国語・算数の2教科と児童質問紙による学習状況調査が実施されました。調査人数自体少ないため、統計の数字だけで状況判断しづらい面もありますが、本校は2教科とも、全国より良い結果となりました。

また学習状況調査では、生活・学習習慣についての項目、学習に対する興味・関心等についての項目が、ともに全国より大きく超えました。

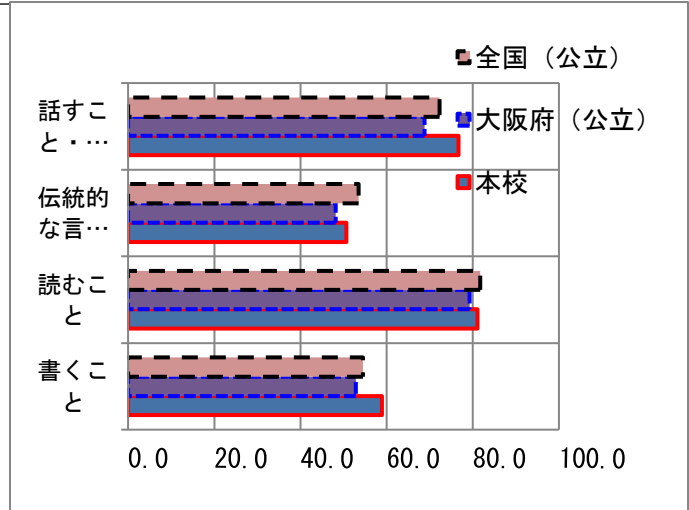
○国語について

平均正答率が65%で、全国平均63.8%よりやや高い (大阪府60%)

正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)



※ 話すこと…話すこと・聞くこと 伝統的な言…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

<正答率が高かった問題>

- 設問3四 **選択** ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の **ウ** に入る適切なものを選択する (習うより慣れよ)
- 設問2二 **選択** 梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する

<正答率が低かった問題>

- 設問1四(1)ア **短答** 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の実線部アを、漢字を使って書き直す (調査のたいしょう)
- 設問1三 **記述** 公衆電話について調べたことを【報告する文章】の **□** に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く

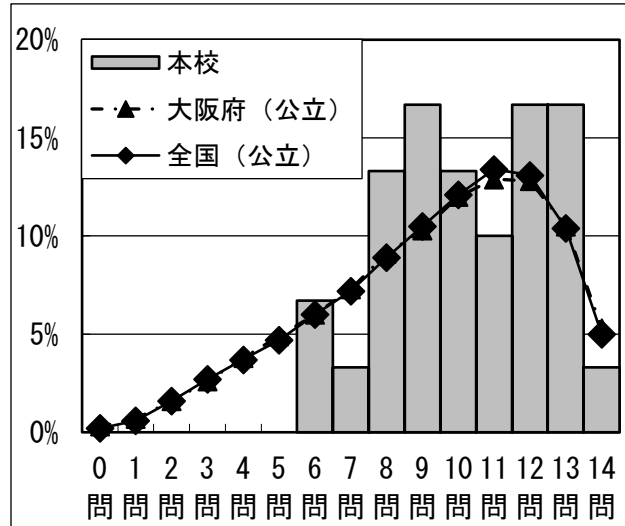
課題克服に向けての取り組み

- ・漢字学習については、文意を捉えた上で漢字を選ぶことができるように、文中で漢字を使っていく指導の充実と、日々の学習の仕方の見直しを図っていく。
- ・文章で答える問題についての無回答率は低くなっている。粘り強く問題に取り組もうという姿勢が感じられるが、児童の苦手意識が高く、正答率も低くなりがちである。接続語の使い方の指導も合わせて、日常の授業場面での問いに対する答え方や、授業の中で、文に書いて答えたり、まとめたりする指導を増やしたい。

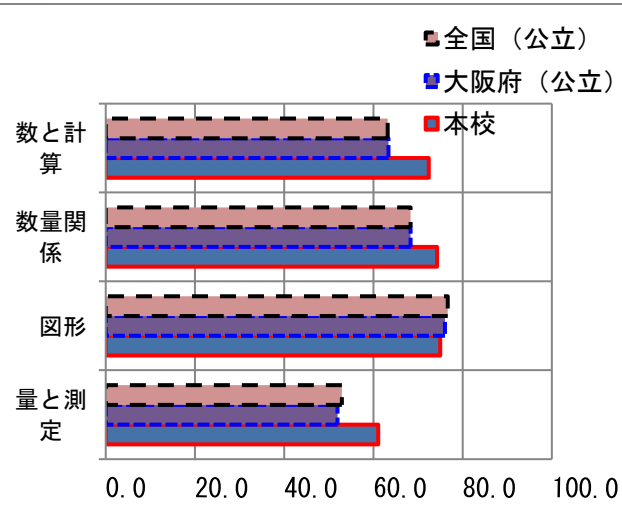
○算数について

平均正答率が73%で、全国平均66.6%より高い (大阪府66%)

正答数分布グラフ (%)



領域別平均正答率 (%)



<正答率が高かった問題>

- 設問 2 (1) **選択** 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ
- 設問 4 (1) **選択** だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ

<正答率が低かった問題>

- 設問 3 (2) **記述** 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く
- 設問 2 (3) **記述** 二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く
- 設問 2 (4) **短答** 洗顔と歯磨きで使う水の量を求めるために、 $6+0.5\times 2$ を計算する

課題克服に向けての取り組み

- ・グラフの読み取りや情報と関連付けた変化の読み取りに課題が見られた。理科や社会科においてもグラフと情報を関連付けた読み取りを意識した指導を行う。
- ・記述式の問題で、正答率が目立って低くなったり、無回答が多く見られたりした。日常の各教科等の授業の中で、「書く活動」への取組の仕方の工夫改善が必要である。また、計算だけでなく、式の意味を理解し、それを説明することができるように、学習場面を設定していくことも行いたい。
- ・四則がまざった計算に誤答が多くみられている。計算の練習と合わせて、文章題の場合には、問題からおおよその答えのイメージをつかむことも大切にしていきたい。立式だけでなく、図などに表し、イメージをもって、数を操作させていく指導を行う。

○児童質問紙について

・概ねどの項目においても、府や全国よりも肯定的な回答が多い。特に、「人の役に立つ人間になりたい」が100%であったことはとても喜ばしい結果である。また、地域に対する興味関心が高いことも頼もしく思う。

・「自分にはよいところがある」の肯定的回答が大阪府や全国に比べて低い。しかし、他の回答結果と合わせて考えると、前向きに取り組みたい気持ちがうかがえる。したがって、経験値の乏しさや自信のなさからの結果というより、さらに向上したいという気持ちの表れではないかと考える。子どもたちが自己有用感を実感できるような取り組みを今後も工夫して仕掛けていきたい。

・話し合い活動は、学級や授業の中でしっかり行われており、互いに認め合い支え合う集団が形成されていることがわかる。

・学習面では、子どもたちが主体的に取り組んでいることがうかがえる。また、国語や算数の授業がよく分かるとの回答が、府や全国よりも格段に高い。「誰もがわかる授業」のための工夫や手立てを子どもたちが実感してくれていることは、我々教員にとっても大きな励みとなる。来年度から施行される新学習指導要領の視点からも、授業改善に一層取り組んでいきたい。

※全58問の質問のうち、本校の特徴が見える回答をいくつか以下に取り上げた。

質問項目	本校	大阪府	全国
自分にはよいところがある。	73.3(13.3)	77.9(36.2)	81.2(38.8)
人の役に立つ人間になりたい。	100(86.7)	94.7(73.9)	95.2(74.7)
家で自分で計画的を立てて勉強している。	86.7(36.7)	63.4(27.9)	71.5(33.1)
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	83.4	58.3	66.1
1時間以上の割合			
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館にどれくらい行くか。	36.6	11.3	17.2
週1回以上の割合			
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	66.7(20.0)	49.0(17.1)	54.5(18.9)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	86.6(23.3)	71.2(28.2)	73.9(30.3)
国語の勉強は好きだ。	80.0(30.0)	62.1(25.9)	64.2(26.5)
国語の授業の内容はよく分かる。	96.7(50.0)	85.0(43.4)	84.9(41.2)
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	100(76.7)	89.5(61.0)	91.4(64.2)
国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫している。	80.0(43.3)	64.8(24.8)	68.5(26.1)
算数の勉強は好きだ。	76.6(43.3)	68.3(40.7)	68.6(40.6)
算数・数学の授業の内容はよく分かる。	100(60.0)	84.8(52.3)	83.5(49.3)
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。	96.7(86.7)	91.6(70.8)	92.5(72.3)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%)

()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)